

未来につなぐ公共施設のあり方を考えませんか？

小平市 公共施設マネジメント市民会議ニュース

VOL.3 平成27年6月30日

第3回 小平市公共施設マネジメント市民会議

- 日時：平成27年6月27日（土曜） 午後2時～午後4時
- 場所：中央公民館 講座室2
- 概要：① 開会
② 前回会議の振り返り
③ 「機能の視点」の説明
④ ワークショップ【テーマ：公共施設における「機能」】
⑤ 閉会



将来の社会情勢の変化などを見据え、これからの公共施設のあり方について話し合う小平市公共施設マネジメント市民会議を4回シリーズで開催しています。

第3回目となる今回の内容は、前回の会議で話し合ったことなどを参加された方にお話していただき、行政経営課から今回のテーマとなる「公共施設における機能」の視点についての説明を行った後に、2グループに分かれワークショップを行いました。

ワークショップの概要

ステップ1 職員説明

今回のテーマである「公共施設における『機能』」について、行政経営課から、ワークショップの前段として必要とされる知識や情報を提供する。

ステップ2 意見出し

グループに分かれ、将来の人口減少に伴う公共施設の縮減を想像しながら、「機能」の視点から感じたことなどを付箋に書き、意見出しを行う。

※テーマ（グループ毎検討）

- ①子ども・若者にとっての機能
- ②高齢者にとっての機能

ステップ3 発表

意見出しから見える課題への解決策を書いた付箋を模造紙に貼り、グループのメンバーから出された意見をまとめていく。

最後に、グループで発表者などの役割を決めて意見を発表する。



市民会議の様子



グループワークの様子



発表の様子

裏面につづく



【今回のポイント】公共施設における「機能」とは



公共施設には様々な「機能」があります。例えば「学校教育」や「運動」、そして「集会」などが挙げられます。市では、これらの機能を提供するため「小学校・中学校」や「市民総合体育館」、そして「地域センター」などの公共施設を整備してきました。未来を見据えた公共施設のあり方を考えるうえでは、多様な「機能」をどのような視点で見えていくかということが重要となります。従来は、例えば学校施設は「学校教育」のためだけの施設とする「1建物1機能」という視点がありました。しかし、将来の社会情勢の変化に柔軟に対応するためには、例えば小平第六小学校が「学校教育」だけでなく、地域の方も利用できる「地域開放」も行っているといった「1建物複数機能」の視点が大切となります。このことを踏まえ、従来の「施設ありきの機能」という発想から、ニーズに応える「機能」を考え、そして「機能」に見合う施設を整備するといった「機能から施設を考える」視点が大切な要素となってきます。

「機能」には「類似機能」という視点もあります。例えば、公民館や地域センターなどは、会議等の目的で部屋を借りる「集会」という類似した機能を有しています。また、民間企業も公共施設と類似する「機能」を提供するなど、「機能」を提供するのは行政だけではなく様々な担い手もいるということがわかります。

■ワークショップで出た主な意見

① 「子ども・若者にとって望まれる機能」（2060年（45年後）頃を想定）

- ・核家族化が進み、世代間の交流が減ることで世代間の溝や交流していく能力が低下してきている。公共施設の機能を複合化するなどで解決してはどうか。
- ・多世代が「集う」ことができ、そこで子ども・若者が「遊び」「学ぶ」ことができるような機能が良い。
- ・例えば、地域センターと児童館のように、既に複合施設となっている「機能」間での交流を行っていく取組みも必要ではないか。
- ・機能の複合化に際しては、法令による問題を解決しなければならないが、行政の縦割りによって機能の複合化ができないようではいけない。行政間での連携をしていくこと。

② 「高齢者にとって望まれる機能」（2060年（45年後）頃を想定）

- ・空き家を利用するなど、高齢者でも歩いて行ける距離に「集う」場を整備してはどうか。
- ・インターネットなどを活用し、在宅でも用件が済ませられるようにすると良い。
- ・多世代が多目的に利用できる複合機能を持った公共施設が望まれるのではないか。
- ・行政が全ての機能を提供するのではなく、民間が民間の得意分野における機能を提供し、多様なニーズに対応できるようにしてはどうか。
- ・様々な公共施設の機能を集約することで、公共施設の魅力と価値を高めてはどうか。
- ・国・都・市が持つ公共施設の類似機能の整理をしてはどうか。



今後の予定

第4回（最終回）7月18日（土曜）中央公民館 講座室2 午後2時～4時

【お問合せ】

小平市 企画政策部 行政経営課
〒187-8701 小平市小川町2-1333
TEL 042-346-9756 FAX 042-346-9513
メールアドレス gyoseikeiei@city.kodaira.lg.jp

未来につなぐ公共施設のあり方を考えませんか？

小平市 公共施設マネジメント市民会議ニュース

VOL.4 平成27年7月22日

第4回 小平市公共施設マネジメント市民会議

- 日時：平成27年7月18日（土曜） 午後2時～午後4時
- 場所：中央公民館 講座室2
- 概要：① 開会
② 前回会議の振り返り
③ 「量・品質・機能」の説明
④ ワークショップ【テーマ：夢と希望】
⑤ 閉会



将来の社会情勢の変化などを見据え、これからの公共施設のあり方について話し合う小平市公共施設マネジメント市民会議を4回シリーズで開催し、最終回を迎えました。

前回の会議で話し合ったことなどを参加された方にお話していただき、行政経営課から「公共施設における量・品質・機能」の視点についてのまとめの説明を行った後に、今回のテーマである「夢と希望～(仮称)公共施設マネジメント基本方針の副題を考える～」を3グループに分かれワークショップを行いました。

ワークショップの概要

ステップ1 職員説明

ワークショップの前段として、活発な意見交換と効果的な内容とするため「公共施設における『量・品質・機能』」について、行政経営課から説明をする。

ステップ2 意見出し

グループに分かれ、将来の社会情勢の変化を見据え、これからの公共施設に対する「夢と希望」のキーワードをひとり3つまで付箋に書き、意見出しを行う。

ステップ3 発表

付箋を模造紙に貼り、グループのメンバー内で議論しながら、グループとして相応しいと考える(仮称)公共施設マネジメント基本方針の副題をまとめ、発表する。



市民会議の様子



グループワークの様子



発表の様子

裏面につづく



【今回のポイント】「夢と希望」とは



公共施設の老朽化、人口減少・少子高齢化、財政バランスの悪化など、公共施設を取り巻く環境が変化することが予想されます。このような社会情勢の変化を見据え、公共施設マネジメントを推進し、課題を解決していくためには、どういったビジョンを持ち、そしてこれからの公共施設あり方について考えていくかが大切な要素となります。

仲町公民館・仲町図書館（なかまちテラス）は、公民館機能と図書館機能の複合化に合わせてカフェスペースが生まれ、憩いの場が創出されました。また、小平第六小学校は学校教育機能だけでなく地域開放機能も有することで、学校が地域の交流の拠点となる効果を生み出しています。このことから、公共施設マネジメントはこれからの公共施設に新しい価値を生み出すチャンスと捉えることができます。今後は、公共施設の持つ新たな可能性に対して「夢と希望」を持ち、取り組んでいくことが大切な要素となってきます。

■ワークショップで出た(仮称)公共施設マネジメント基本方針の副題(案)と主な意見

① 自分たちで創る 人が中心のまち小平

- ・市民が参加し、そして主体的に関わり、まちをデザインすること。
- ・人のことをまず第一に考え、つながりを持てるような公共施設であること。
- ・健康やイノベーションを意識した公共施設の整備をすること。

② いつでもだれでもつどえる わくわくするランドマーク

- ・いつでも、だれでも利用できる公共施設が様々な交流を生み出す。
- ・公共施設は市政のバロメーターであり、まちのランドマークであるので市民がわくわくできるようなものであることが大切だ。
- ・公共施設が多機能的な居場所で、ゆったりまったりできるなど、人生の幸福につながると良い。

③ 緑ゆたかな自然のなかで みんなで一緒に考える公共施設

- ・緑ゆたかである小平市の良さが公共施設で感じられると良い。
- ・公共施設は市民交流の場であり、気軽に集まり、学び考えることができること。
- ・市民同士がつながることができ、文化などを世代間でつないでいくことができる場であること。



市からのメッセージ

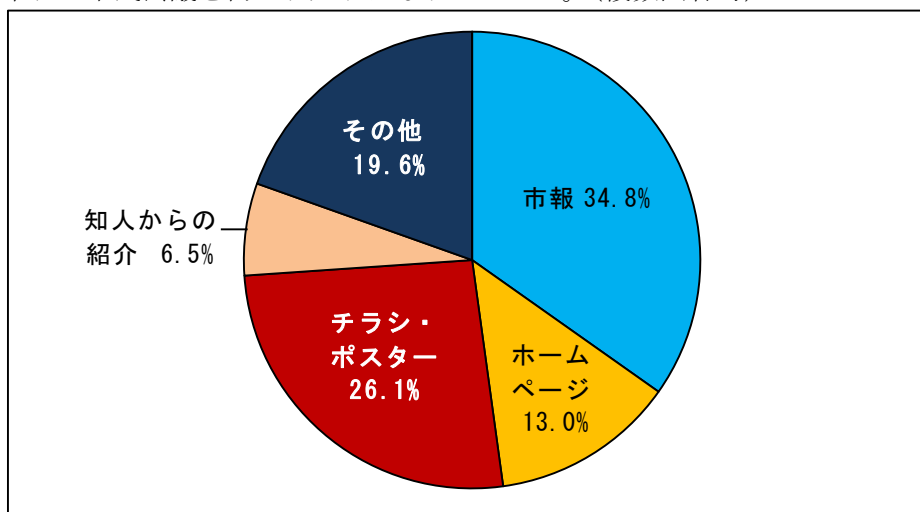
市民会議にご参加いただきありがとうございました。
今年度は「(仮称)公共施設マネジメント基本方針」を策定し、これからの公共施設マネジメントを推進するうえでの基本的な考え方などを示す予定です。
今後ともご協力のほど、よろしくお願いいたします。

【お問合せ】

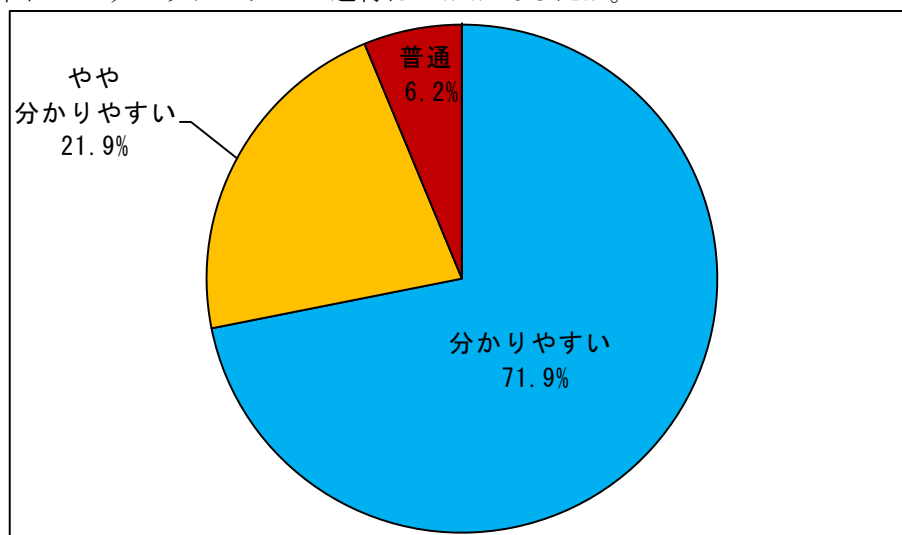
小平市 企画政策部 行政経営課
〒187-8701 小平市小川町2-1333
TEL 042-346-9756 FAX 042-346-9513
メールアドレス gyoseikeiei@city.kodaira.lg.jp

(4) アンケート集計結果 (4回分)

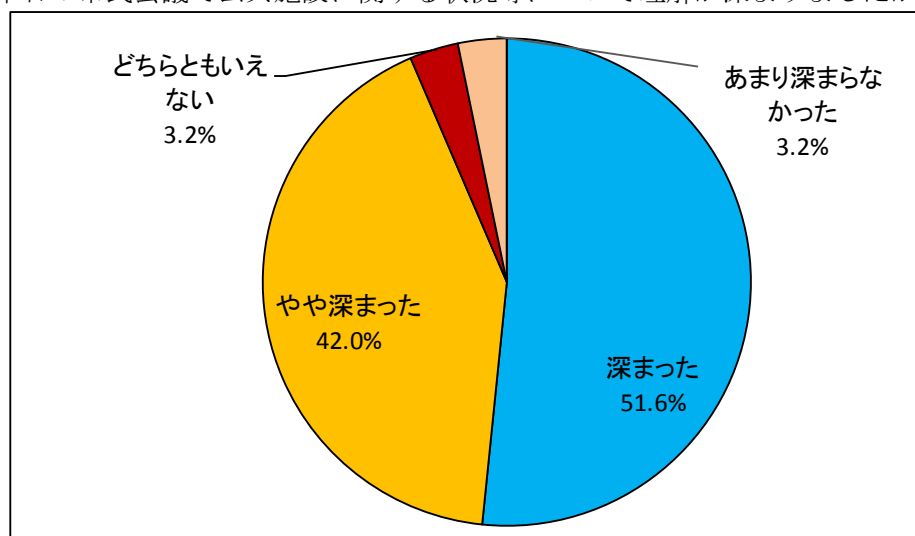
①本日の市民会議を何でお知りになりましたか。(複数回答可)



②本日のファシリテーターの進行はいかがでしたか。



③本日の市民会議で公共施設に関する状況等について理解が深まりましたか。



※回答の比率(%)は、その質問の回答者数を母数として算出しています。

(5) アンケート自由意見
第1回市民会議

| 自由意見 | |
|------|---|
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> 小平市の公共施設マネジメントは全国に先駆けて市民と協働で方針を決めた第1号となるくらいの効果を上げたい。 初めの施設のプロット作業は市で用意しておくべき作業では。話し合う時間をもっと確保したら。 市民を巻き込む、参加者を増やす努力をして欲しい。 人口減少・高齢化を逆手に取る発想を考えていきたい。 小平は子育てしやすい町をかかげて、まちづくり宣言をしたら全てその方向で考え、計画を進めれば。 |
| 2 | ワークショップは有意義でした。ご苦労さまです。 |
| 3 | 何でもあればいいと考えてはバランスが崩れるのでは。 |
| 4 | <ul style="list-style-type: none"> 今後のスケジュール（あと3回）の中身が分かりませんので教えてください。 多くの方と話をするとき、いろいろな角度から考えることができるのもっと多くの市民に参加してほしい。私も呼びかけます。 |
| 5 | 意見の聴取を自由（時間）に受けてほしい。 |
| 6 | 少人数（4人×2組）の話合いであったが、皆さん意識も高く、また多角的な意見交換ができたと思う。 |
| 7 | 具体的な取組として、現在の課題と今後の公共施設の経営戦略について、経済効果をもたらす施策をどうするのか。 |

第2回市民会議

| 自由意見 | |
|------|---|
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> 多様な会議進行の方法を工夫されていることに敬意を表します。 先般のアンケートにおいても、約700に及び意見が寄せられています。今日までの様々な取り組みの成果をこれらの意見とあわせて、予算化も含む行動レベルの施策に反映する段階に至っているのでしょうか。 量と質 小平市において、整備されてきた公共施設は市民及び小平市全体にいかなる影響をおよぼしてきたか（幸福感民度など）の分析はなされてきたのでしょうか。 |
| 2 | <p>1回目を休んだため、スタート台が違う感じがして皆様と同じテーブルに乗れなかった。今後の公共施設のあり方について、私は第3セクター方式で建替を行い、公共機能（学校、公民館、図書館、地域センター機能等）、病院、住居エリアを複合したものにすれば高齢・少子対策も解決できると考えます。</p> <p>また、どの未来を考えてかの時間テーブルをはっきりさせると、より具体的な意見が発表できたかなと思います。</p> |
| 3 | 参加メンバーが増えるといいですね。 |
| 4 | <ol style="list-style-type: none"> 小平を取り巻く現状や課題を踏まえて、公共施設の基本方針の策定に向け、将来的なビジョンを見据え視点を見すえて公共施設のあり方を考える。 イノベーションを推進する。 |
| 5 | 自治体の大きさ、前提条件、枠組、パラダイムシフトを下じきにした議論の進め方が良いのでは。 |

| | |
|---|---|
| 6 | <p>1. ある日突然、身近な公共施設がなくなる、という様な進め方は絶対しないで欲しい。</p> <p>2. 街づくりの良いチャンスだと考えて、発想の転換で良い結果にしたい。</p> <p>3. 小平市の良さを伸ばして、街づくりに生かしてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家賃が安い…空き家を小平市としてのマネジメントで、子育て支援に役立てる。 ・公民館が多い…市民活動を活発にして、「協働」を推し進めては。 ・緑が多い…都市農業を活発にして地産地消で財政アップ |
| 7 | <ul style="list-style-type: none"> ・施設について、職員グループの職員の方のはなしがよかったです。知らない事で点在していることがつながりました。 ・課長のはなしの中から、「やっぱり施設は減らすんだな」と思いました。減らし方がとても難しいです。市民サービスの向上につなげるためにもどこを減らすのか…旧耐震基準のところの今後の難しい。 ・職員の方と市民の方と一緒に話すこうした機会は、とても意義深いと思いました。 ・地図に、近隣市の施設についても落とし込んでいただき、とても参考になりました。 |
| 8 | <p>もっと、公共施設について興味のある方が多く参加してほしい。しかし難しいのが現実です。</p> |

第3回市民会議

| 自由意見 | |
|------|--|
| 1 | <p>まだ自分なりに不勉強なところあり。まだまだ勉強です。理解を深めるために。</p> |
| 2 | <p>公共施設に関する条例や、今後の方向（まちづくり特別委員会、都市計画マスタープラン等）が分かる又は参考になる資料の配布をお願いします。</p> |
| 3 | <p>時間が短かった</p> |
| 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・次回以降の注文になるかと思いますが、事前に討論するテーマを教えておいていただければ、準備ができて視点のものをなくしたり、討論をより深められるのではないかと思います。 ・自分では一生懸命考えて発言、参加しているつもりではいるが、どこかうわずった感をおぼえたり迫力の無さを感じる。この原因を考えてみると、公共施設の現場、現物、現実に対して、しっかりしたデータ、実経験が不足（場合によっては、ない）していることが主因と思っています。今後この点の克服に努め、少しでもレベルアップできればよいと思っています。情報提供も含め、ご指導よろしくお願い致します。 |
| 5 | <p>次回も参加したい。</p> |
| 6 | <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな方からのご意見をきくことができまして、よかったです。 ・ただ、「子ども・若者にとっての機能」を考える時に、高齢者ばかりで考えても、通り一遍の意見しかでなかったように思う。あまり活気的な発表ではなかったのも、そういう年齢の方（若い方）がどう将来を思っているのかも、別の機会を確認したらどうでしょうか。 ・課長のはなしで、青少年センターの話がでしたが、これも青少年のニーズより大人の都合が優先されたこともあったのではと思いました。 ・民間運営が全てよいわけではない。行政が得意な分野と民間が得意な分野があるのでバランスが大事。市民運営のよいところもあるが、これも欠点（持続性がない、人により好き嫌い、不公平、ボス）があるので、全ての施設にこうした運営を持つていくのはどうかと思う。 ・次回が最終回だけに行政経営課のまとめ方もどうなるのかなーと（良い意味でもです。）気になります。一方の意見（多数）だけでなく、少数の意見もとりあげてほしいと感じました。 ・若い職員さんたちはいつも熱心ですね…いいですね… |
| 7 | <p>行政のたてわりはなおして頂きたい。本気で。</p> |

| | |
|---|---|
| 8 | <p>公共施設のあり方について。公共施設は、多様な主体により市民参加と協働により、活性化の推進を図ることです。</p> <p>具体的には</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 市民の集会・学習及び交流の場、さらに地域のコミュニティの拠点として公共施設を管理運営する。 2. 地域住民と課題を共有し、協働の公共施設の管理・運営を進める。 3. P→D→C→Aサイクルの進行と推進。 4. 防災に強い公共施設（安全で快適な空間）の推進。 5. 小平市の特性を活かした公共施設づくり。 6. 公共施設設置の条例の仕組み等の活用と支援を図る。 <p>機能面でのポイント</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 公共施設の利便性を高める。 2. 「市民が真に求めている公共施設やサービスは何か？」。 3. 「どのようにすれば市民の利便性を高めることができるか？」。 <p>※市民の立場に立って考えていくことが重要なカギになる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. 市民や行政の視点に応じて、運営・形態等を変える。 5. 従来からの「公共施設」という考えではなく、価値の創造戦略を推進する。 6. これからの「公共施設」は、市民の効用を高める方法を考え合わせ、設置形態を変えたりする。 <p>※上述に関連し、小平市の置かれた背景（現状と課題）に応じて、適切に組み合わせることなどにより、イノベーションの推進に導く。</p> <p>キーワード</p> <p>小平市総合計画 行政計画と施設配置計画 学校・家庭・地域の連携 新しい公共</p> <p>私が述べたいことは、「新しい公共」という考え方を進めていくことです。</p> <p>新しい公共は、現代的課題であり、社会性・公共性という観点から、その要請に即応していくことが重要なことです。</p> <p>それには、行政だけでなく、市民、事業者、NPOなどから積極的に情報を得て、公共的な財・サービスの提供主体となり、介護や福祉、教育や子育て、ひと・まち・しごとなど身近な創生分野でその在り方について自らが地域の主体づくりの役割を果たす努力をすることです。</p> <p>関連して、公共施設の位置づけや組織・運営を住民や大学等の高等教育機関と組織的連携を図り、大学等の有する人的・知的・物的資源を最大限に活用し、地域コミュニティの拠点として対象施設を管理運営することです。</p> |
|---|---|

第4回市民会議

| 自由意見 | |
|------|---|
| 1 | <p>(2回目の参加となりました。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回も様々な方々の意見に触れて公共施設に関する考えが深まりました。 ・公共施設のあり方は・ <p>今後10年、20年、30年と変わっていくものと思います。年代毎に”求められる公共施設”のイメージをシミュレーションし、それを5～10年毎に見直していく必要があるでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民生活の幸福に、公共施設がどのように貢献してきたか。負の部分も含めて考えてみる必要があるのではないかと思います。 <p>本日も参加させていただき、ありがとうございました。</p> |
| 2 | <p>素案について、市民会議で出た意見は、対立する意見も含め、反映させてほしいと思いました。</p> <p>例えば、「民間でできることは民間でやる」と「公でやるべきことは民にしない」など、両方意見があったかと思しますので、よろしく願います。</p> <p>むやみやたらに施設を減らさないでください。よろしく願います。</p> |

| | |
|---|--|
| 3 | <p>今後公共施設だけでなく、何に供するかという目的を達成できる「モノ」を考えて見直し、構築すべし。</p> <p>具体的に公民館と図書館機能を忘失した「なかまちテラス」の様な「モノ」は二度と作らないこと。この点「新国立競技場」の白紙見直しは大変良かった。</p> <p>今般のメンバーに、大学生、あるいは高校生と主婦（女性）の参加が必要であったと痛感。（保育をつける。）（開催時間帯から可能と考えます。）</p> <p>席座をもう少し広く設定して欲しかった。</p> |
| 4 | <ol style="list-style-type: none"> 1. ソフト重視と民活を利用した多機能・複合的な施設 2. 既存の土地（場所・敷地）にとらわれず等価交換して必要な場所、必要な大きさのハードな施設を考えるべき。 3. 超高齢化社会における居場所づくりも大事。多世代間の交流もできる施設。 4. 全予算を公共施設にまわすのではなく、一部を民間の提供するスペース・居場所づくり支援用にキープする体制へ |
| 5 | <p>有意義な時間をもてて、ありがとうございました。</p> |

未来につなぐ公共施設のあり方を考えませんか？
**小平市 公共施設マネジメント
市民会議**

将来世代にまで持続可能な施設経営を行い、安心・安全な施設を維持するため、未来を見据えた公共施設のあり方について、ワークショップを中心とした市民会議を開催します。

市内在住・在勤・在学の方 25人程度
申込みは、住所、氏名、電話番号、性別、年齢（年代でも可）、自由意見（参加動機など）を問合せ先へ（電話、ファクシミリ、電子メール可）
※申込書は小平市ホームページからダウンロードできます。

5月23日(土)

中央公民館

講座室2

①

6月27日(土)

中央公民館

講座室2

③

いずれも午後2時から
午後4時まで

②

福祉会館

第3集会室

6月13日(土)

④

中央公民館

講座室2

7月18日(土)

【お問合せ】

小平市 企画政策部 行政経営課

〒187-8701 小平市小川町2-1333

TEL 042-346-9756 FAX 042-346-9513

メールアドレス gyoseikeiei@city.kodaira.lg.jp

小平市 公共施設マネジメント市民会議 報告書

平成27年11月発行

編集・発行 小平市企画政策部 行政経営課
〒187-8701
東京都小平市小川町二丁目1333番地
電話番号 (042) 346-9756
電子メール gyoseikeiei@city.kodaira.lg.jp